

1) 今日のテーマ

おはようございます、今日は1学期の終わりに当たり、みなさんの1学期の努力をたたえつつ「めんどくさいからやろう！」というテーマでお話をします。

2) 不快のデザイン展

3月のことです。私は、東京丸の内にあるグッドデザイン丸の内というギャラリーで「世の中を良くする不快のデザイン展」という展覧会を見てきました。リーフレットには、この展覧会について、「不快」を効果的に使うことで、「世の中を良くするデザイン」になっているコト・モノを、心理効果から紐解き展示する企画展です、とありました。例えば、緊急地震速報のサイン音、がテレビで鳴っている時を思い浮かべてください。あの音は、不協和音でできていて、不快な音をあえて出すことで注意をひいています。

その展覧会で、私が印象に残ったのは、ホットケーキミックスです。ホットケーキミックスの粉がスーパーで売られていますが、あれでホットケーキを作ったことがある人はいませんか？ホットケーキミックスは、発売当初は粉に水を混ぜて焼くだけで完成するものでした。ところがあまり売れませんでした。そこで、卵1個を加えるというひと手間を加えたところ、売り上げが伸びたそうです。

この、卵を加えるという、ちょっとのめんどくささ、が、自分が努力したという満足感を与え、よりおいしく感じられる、と分析されています。そしてこれを「コントラフリーローディング効果」と言うのだそうです。

3) 頑張って登校した自分を認めよう。

めんどくさいからこそ価値が上がる、という体験、みなさんにもありませんか。毎日学校に通うこと、もその一つではないでしょうか。本校は、駅から遠い学校です。駅から近い学校、改札から歩いてすぐの学校ではありません。でも遠いからこそ、「今日も頑張って学校に通った、通った自分はえらい！」と頑張ってほしいと思います。1学期間、頑張って学校に通った自分を認めてあげてください。1年生は高校に入学して初めての電車通学、自転車通学という人が多いでしょう。また、2・3年生も、この春から登校時間が早くなって、慣れないうちは大変だったという人もいたでしょう。頑張った自分を、そして同じように頑張った友達を、認めてあげましょう。

4) 生成AI

もう一つ、めんどくさいからやろう！という話をします。ChatGPTのような生成AIの話です。みなさんも知っているように、生成AIは、文章や絵を簡単に書く（描く）ことができます。しかし、安易にAIに頼らず、まずはめんどくさくても自分の力で、学習課題に取り組みましょう。そもそも生成AIは、高校生が使う際には保護者の許可が必要なものもあります。また、夏休みの課題での生成AIの使用については、各担当の先生から指示が出ていると思います。一般的に、学校の学習での生成AI

1の活用については、まだ研究段階であり、どう使えばいいのか、どんな悪影響があるのか、まだはっきりわかっていません。先ほどの、ホットケーキミックスの例のように、めんどくさいからこそ、充実感や満足感を得られるよう、自分の力で、夏休みの課題にも取り組みましょう。

5) 結びに

4月の、1学期の始業式で、「認め合い」ということについてお話ししたのを、2・3年生は覚えているでしょうか。認め合い、とは、自分を認め他人を認めることだと考えてください。自分がここにいること、他人がここにいること、それを認める、ことを大切にしてほしい、という話をしました。めんどくさいけど頑張った自分を、頑張った友達を、認め合い、夏休みそして続く2学期への自信につなげてほしいと願っています。

6) 振り返り

さて、今日のまとめです。今日の私の話のテーマは、何だったでしょうか？最初のスライドを覚えていますか？

めんどくさいからやろう。めんどくさいことを頑張った自分を認めよう。そしてまた2学期に、学校で、元気な姿でお互い会えるのを楽しみにしています。私の話を終わります。